

平成 3 0 年 度

教 育 委 員 会 定 例 会 （ 7 月 ） 議 事 録

四條畷市教育委員会事務局

教 育 委 員 会 定 例 会

1 開催日時・場所

平成30年7月25日(水) 10時00分から12時17分
四條畷市役所 東別館201会議室

2 出席委員

教 育 長	森田 政己
教育長職務代理者	山本 博資
委 員	吉田 知子
委 員	竹内 千佳夫
委 員	小田 みゆき

3 事務局出席者

教育次長兼教育部長	開 康成	青少年育成課長兼主任	杉本 一也
教育部次長 兼学校教育課長	上井 大介	都市整備部上席主幹	藤井 道幸
教育総務課長	板谷 ひと美	公民館長兼主任	勝村 隆彦
教育部上席主幹(教育総 務担当)兼学校教育課人 権教育・教科指導担当課 長兼教育センター長	木村 実	図書館長兼主任兼田 原図書館主任	田中 学
四條畷市立学校教科用 図書選定委員長 (田原中学校長)	堀池 洋一	施設再編室長 兼 課 長	南森 淳一
		教育総務課	織田 紗樹

4 議事録作成者

教育総務課 織田 紗樹

5 付議案件

議案第11号 平成31年度使用四條畷市立学校教科用図書の採択について
その他 四條畷南中学校敷地内活断層調査結果報告と公共施設等劣化診断調査結果
報告について
運動部活動等における熱中症事故の防止等について
大阪北部地震発生後の対応について

<p>森田教育長</p>	<p>只今から、7月の教育委員会定例会を開催いたします。 それでは、四條畷市教育委員会会議規則第5条第2項の規定に基づき、会議録署名者の指名を行います。 本日の会議録署名者は、吉田委員にお願いいたします。</p>
<p>森田教育長</p>	<p>それでは議事に入ります。 議案第11号 平成31年度使用四條畷市立学校教科用図書の採択についてを議題といたします。 事務局から本件の内容説明を願います。</p>
<p>木村教育部上席主幹(教育総務担当)兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長兼教育センター長</p>	<p>議案第11号 平成31年度使用四條畷市立学校教科用図書の採択について、平成31年度使用四條畷市立小中学校教科用図書について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号及び義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条の規定により採択を求めるものでございます。</p> <p>提案理由といたしまして、平成31年度に四條畷市立小中学校で使用する教科用図書の採択を求めるため、本案を提案いたしました。</p> <p>平成31年度に四條畷市立学校で使用する教科用図書の採択につきましては、中学校における「特別の教科 道徳」の教科書の採択を新たに行うこと、「特別の教科 道徳」を除く四條畷市立中学校で使用する教科書の採択を行うこと、そして平成31年度に四條畷市立小学校で使用する教科用図書について採択を行うことになっております。</p> <p>まず1点めが、「平成31年度使用教科書採択事務の経過報告」でございます。</p> <p>教科書採択に関して、教育委員会定例会及び選定委員会、調査員会、見本の移動展示及び教科書センターにおける展示等について、現在までの日程等をお示しさせていただいております。</p> <p>2点めは、「平成31年度使用四條畷市立小中学校教科用図書の採択に係る答申」でございます。</p> <p>また、別添として、学校の先生方からいただいた学校意見書、市民の方々からいただいた教科書の閲覧に関するアンケート、各団体からの各種要望書等を資料としています。</p> <p>本日は、この答申等をもとにして、本市公立小中学校で来年度から使用する教科用図書について、どの発行者の教科書を採択するか決定していただきますよう、ご審議をよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、ここからは、諮問いただきました選定委員会の委員長である、田原中学校 堀池校長よりご説明させていただきます。</p>

堀池選定委員長

それでは、まずは、答申の主旨についてご説明いたします。

四條畷市立学校教科用図書選定委員会（以下、選定委員会という）は、平成30年5月23日に、四條畷市教育委員会から、平成31年度使用四條畷市立小中学校教科用図書の採択に係る諮問を受けました。

当選定委員会は、平成31年度に四條畷市立中学校で使用する「特別の教科 道徳」の教科書について調査員会の設置を決定し、各中学校長より推薦された3人の調査員に、教科書見本本の調査、研究を依頼しました。

調査員会は、班長を中心に、約1ヶ月間をかけて調査研究を深め、調査事項報告書が作成されました。

その結果については、選定委員長及び委員と事務局が、班長より調査事項報告書を受け取り、調査研究の経過と意向を聞き取りました。

また、市内の全中学校において、全ての教科書見本本が移動展示し、学校ごとにまとめられた学校意見書についても、参考とすることにしました。

当選定委員会は、教科用図書見本本の閲覧と調査研究を行い、大阪府教育委員会の平成31年度使用教科用図書選定資料及び各教科書発行者の教科書編修趣意書の研究を行いました。

あわせて、平成31年度に四條畷市立小学校で使用する教科書につきましては、4年間の使用実績を踏まえつつ、平成26年度の調査研究の内容等を活用しながら当選定委員会は調査研究を行いました。

このような調査研究や調査事項報告書、各種資料等を総合的に判断し、その特徴をまとめ選定委員会としまして、本市児童生徒が平成31年度に使用するにふさわしい教科書を別紙のとおり、答申いたします。

森田教育長

ありがとうございました。

今、説明のありました答申の主旨についてご質問はございませんか。

（「なし」の声）

森田教育長

それでは、選定委員会の調査報告を受けながら審議を行ってまいります。あらかじめここで「採択の方法」についてお諮りいたします。

今回の平成31年度使用四條畷市立中学校教科用図書の採択は、「特別の教科 道徳」の1教科のみを新しく採択することですので、まずはこの「特別の教科 道徳」についてのみ、報告、審議、採択と進め、続いて、平成31年度使用四條畷市立小学校教科用図書の採択について、報告、審議、採択、最後に中学校の道徳以外の教科については、後ほど審議を行う、と進めるということでしょうか。

（「異議なし」の声）

森田教育長

では、審議に入ります。
堀池選定委員長、報告をお願いします。

堀池選定委員長

「特別の教科 道徳」は、8発行者から教科書が出されています。
「特別の教科 道徳」の目標は、「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解をもとに、自己を見つめ、物事を多面的、多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。」となっています。
教科書の研究調査においては、読み物の内容として物語や体験、国内外の著名人や伝記等の教材のバランスがどうであるか、別冊の有無とともにその編成の仕方がどうであるか等、各発行者様々な特徴がありました。
内容に加えて、文字、写真、挿絵等の配置や見やすさ、色使いなどユニバーサルデザインの観点や、グローバル化のなかでいかにしてアイデンティティをもつかというような部分もポイントであると考えました。
また、教科書を使って教員が創意工夫しながら学習を進めるなかで、いかにして子どもたちの発言や思考を促し、子どもたち自身がどう感じ考え、どう生きるかという心情や態度などを育むことに繋げていけるかという視点が、重要であると考えております。
それでは、8発行者について順にご説明させていただきます。

東京書籍株式会社 新しい道徳についてです。
教材の冒頭にはわかりやすくマーク（テーマ）が示され、生徒が見通しを持って学習できるようになっている。
また、教材末尾にある「考えてみよう」の設問例を通して、考えを深められるようになっている。
題材によって「つぶやき」欄が設けられ、生徒の感じたことが書き込めるようになっており、対話にもいかしたり、学期末のふりかえりの際に見返したり活用できる。
3学年とも、オリエンテーション、教材、付録で構成されており、「アクション」というロールプレイするものや、付録の心情円の切取りワーク等、多様な学習の展開が提示されている。

学校図書株式会社 輝け 未来 中学校道徳についてです。
中学生の今を扱った教材が多く、季節感や生徒の成長を意識した教材配列になっており、自分自身と重ねながら深く考えることができるようになっている。
学期ごとに、「学びの記録」が設けられ、学んだことを整理し、振り返ることで次への課題を見つけることができる。
教材末尾にある「心の扉」を使って学習することで、教材で学習したことを深化させたり、これからの生き方について考えさせたりでき

(堀池選定委員長)

るように配慮されている。

教育出版株式会社 中学道徳 とびだそう未来へについてです。

教材の冒頭には問いかけが示されており、生徒が主体的に考えられるように取り扱われている。

いじめ問題を直接取り上げた教材や、現代の課題である「歩きスマホ」、死刑制度を考える題材等、答えのないものについて議論をしたり他者とよりよい関係を築いていく意欲を高めたりできるような内容が扱われている。

学期ごとに教材がバランスよく配置されており、読みやすい長さの教材が多い。

光村図書出版株式会社 中学道徳 きみが いちばん ひかるときについてです。

生徒と同じ年頃の人物を描いた教材が多く、様々な分野で活躍する著名人、スポーツ選手を取り上げるなど、多面的、多角的な教材が取り扱われている。

1年間を4シーズンに分け、シーズンごとにテーマを掲げている。テーマに応じ、複数の教材を組み合わせた学習ができるよう組織・配列されている。

巻末資料「学びの広場」では、資料が豊富に記載されており、各教材で学んだことについて考えを広げ、深められるよう配慮されている。

日本文教出版株式会社 中学道徳 あすを生きる、中学道徳 あすを生きる道徳ノートについてです。

教材の冒頭には主題が示され、生徒が見通しを持って学習できるようになっており、教材末尾には「考えてみよう」の設問例を通して考えを深められるようになっている。

別冊「道徳ノート」は学習したことをポートフォリオ管理することで学びの振り返りに役立てることができるとともに、自由度が高く、発問や授業形態の工夫によって、様々な活用が可能である。

実写や水彩またアニメ等、テーマや教材に対応した多様なデザインの工夫がある。見開きページのカラー写真がダイナミックで効果が高い。

株式会社学研教育みらい 中学生の道徳 明日への扉についてです。

教材の冒頭に主題となるテーマ等が示されていないことで、生徒が主体的に問題意識を持てるよう取り扱われている。

<p>(堀池選定委員長)</p>	<p>大判でインパクトのある写真や絵が多い。 巻頭に自分を見つめるページ、巻末に1年間の学びを振り返るページが設けられ、これからの課題や目標を見つけることができるよう工夫されている。</p> <p>廣済堂あかつき株式会社 中学生の道徳、道徳ノート、自分を見つめる1、自分を考える2、自分をのばす3についてです。 「道徳ノート」には複数の教材の自分の考えを1か所に書いて記録することで、心の変化や成長を実感することができるようになっているとともに、学習内容を補充する様々な資料が掲載されている。 教材の冒頭に主題となるテーマ等が示されておらず、生徒が主体的に教材に向き合える。 教材ごとに自己評価を5段階評定式でできるとともに、自己の在り方、生き方を振り返って評価することができるよう工夫されている。</p> <p>日本教科書株式会社 道徳 中学校についてです。 学習指導要領の内容項目順に構成されている。 巻末に一年間学んだことを確認し、次の目標を見つけることができるよう工夫されている。 「届けたい言葉」や「込められた思い」等のコラムが記載されている。 以上でございます。</p>
<p>森田教育長</p>	<p>委員の皆様の上に教科書がございます。 それぞれの教科書について意見交換をしながら、最終的に本市の来年度からの使用教科書を選定してまいりたいと思います。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>全部の教科書を見せてもらって、全般的に、どの教科書をとっても、編集者の思いとか意図が伝わってくる内容で、生徒が主体的に学習できるように、いろんな工夫がなされているなと感じました。 そのなかで、東京書籍と廣済堂あかつきについて、意見します。</p> <p>東京書籍で一番感じたことは、生徒が興味をもって取り組めるように、漫画やイラスト、写真などを効果的に配置し、親しみやすい内容で、読み物教材も心を動かすものが多く、また、付録も内容も読み物や資料が充実していて、子どもたちにとって非常に理解しやすいように工夫されていると感じました。 2点めには、教材によって「つぶやき」コーナーがあり、自分の考えを書いたり、また、教材の末尾にある「考えてみよう」のところでは、学習の流れや指針がわかりやすく掲載されて、自分の考えを深め</p>

(竹内委員)

られるように工夫されていると強く感じました。

さらに、巻末には、切取り式の自己評価用紙があり、提出できるようになっているので、教師にとっても、評価の1つとして参考になるのではと感じました。

廣済堂あかつきについて、一番感じたことは、教科書と別冊のノートがあって、それぞれが充実した内容なんですけど、教科書の方では、主に考えて話し合っただけで学習を進める。

道徳ノートについては、自己を見つめ、その2冊の相乗効果が期待できるかと思ったので、授業をする側にとって、有効になってくるのではと思いました。

道徳ノートには、書き込み欄がたくさんあって、自己を見つめる場、成長の記録にもなり、心の変化や成長を実感できるのではと。

また、巻末には「心のしおり」があり、教材ごとに自己評価がしやすいように工夫されていると思いました。

道徳ノートは別冊になっているため、随時提出することができ、教師にとって、指導や評価に活かすことができるんじゃないかなと思います。

教科書については、性別やいじめの問題が充実しており、生徒が理解しやすいよう、各ページの下の方には難易語の説明があり、挿絵や写真も適切に配置されており、内容理解に役立っていると感じました。

学研教育みらいについては、A4判と大判サイズで、挿絵や写真もインパクトがあって、子どもにとっては学習しやすい内容になっています。

光村図書については、国語の専門だけあって、菊池寛の「恩讐の彼方に」を始め、心に響く教材がたくさんありました。

また、巻末の資料が豊富で、考えを深められるようになっていると感じました。

山本教育長職務代理者

今回、学習指導要領が改訂されたなかで、注視をしなければならないのは、主体的、対話的で深い学びという観点だと思います。

それを道徳の教科書に活かすと、基本的な考え方としては、先ほど選定委員長も仰いましたが、子どもたちが自分で考えて、人権感覚をもって、いろんな事例について感じて、自分が行動できる、道徳的行為の習慣を身に付けさせるという観点が必要だと思っています。

本市が道徳をやるなかで、今一番、課題になっている、いじめについて考えさせていくことが大事ではないかという視点をもって、それぞれの教科書を見させていただきました。

東京書籍、学校図書、廣済堂あかつきについては、いじめの構図につ

(山本教育長職務
代理者)

いて、他社とは違う取組みをされているように思います。

具体的には、特に学校図書は傍観者の視点がはっきりと書かれているところに注目しました。

いじめの四層構造と言われている部分について、廣済堂あかつきの別冊には非常に詳しく書かれているのですが、従前のいじめをしてはだめだと、いじめをされた子どもたちの苦しみやしんどさ、そういう観点だけではなくて、傍観者の子どもたちがどういう態度をとるかという、多くの子どもたちの態度の育成に視点をあてているというところは画期的ではないかと思っています。

あと、残念ながら、いじめをあまり明確にされていなかったのが、日本教科書かなと思います。

いろいろといじめについて書かれていて、生命を尊ぶ態度に重点を置いて、基本的な事柄を述べられています、中学生が扱うにはなかなか難しいかなという印象をもちました。

光村図書については、いじめ及び共生社会について非常に重点を置いて書かれて、生命の尊さについても視点を置いているかなと思います。

学研教育みらいもいじめについては3学年続いて12項目くらいありました。

いじめに絞って意見させていただきました。

吉田委員

学校図書について、ぱっと見て字が大きくて、本を読むことが苦手な子でも入りやすいかなという印象を受けました。

学期ごとや1年間の振り返りページがあること、夏には夏休みの題材が設けてあることが良いと思いました。

中学生によくある話を題材として扱っているのも、子どもたちが入っていきやすいのではと感じました。

教育出版については、各回ごとに「学びの道しるべ」の問いかけがあり、答えがそれぞれ違うけれども、考えを引き出すヒントになると思いました。

また、死に対する題材が結構あり、ちょっとショッキングな題材だと思いますが、大事なことではないかなという印象も受けました。

教育出版については紙質が気になりまして、紙が光って文字が見えにくいのではないかと思います。

その点では、光村図書は紙質が柔らかく、目に優しく読みやすい印象を受けました。

ただ、光村図書は国語的な感じを受け、ちょっと字が小さいと感じました。

日本文教出版については、別冊ノートがあることで、先生方にとって使い

<p>(吉田委員)</p>	<p>やすいかどうかというのが、先生方の使い方次第で良い方へ行くのではないかと思います。</p> <p>いじめの題材もよく使われています。</p> <p>また、この教材で、考えるという主題、テーマがあると感じました。</p> <p>学研教育みらいについては、編集の文を各社読ませていただいたなかに、メンタルトレーニング、アンガーマネジメント、自己肯定感ということで、生命の尊重、いじめ防止を掲げていらっしゃいました。</p> <p>この3点に関しては、自尊心や不登校、自殺防止などにもとても役立つ題材だと思いますので、それをあげていたことに好感をもちました。</p> <p>ただ、教科書的には少しサイズが大きくて、持ち歩きする時に子どもたちに負担があるのかもしれないと感じました。</p>
<p>小田委員</p>	<p>子どもが使いやすい教科書は何かと、子どもたちがぱっと見て道徳と構えずに選ぶと、学研教育みらい、東京書籍、日本文教出版。</p> <p>表紙のイメージですが、生徒がとっつきやすい感じかなと思います。</p> <p>学研教育みらいは大きいですが、その分ゆとりがあるというか、脚注も入れてくれて見やすいし、写真やイラスト、挿絵もインパクトがあると思いました。</p> <p>東京書籍はイラストがたくさん入っていて、漫画もあるし、子どもが楽しいかなと。</p> <p>先ほどもありましたが、別冊をもっているのは廣済堂あかつきと日本文教出版ですが、教師側からすると、指導しやすいのではないかと思います。</p> <p>学研教育みらいの特徴としては、敢えて主題名を表示しないということで、これは生徒が主体的にテーマを考えさせる工夫だと思います。</p> <p>あとは全ての教科書ですが、とても綺麗で、教材に入り込みやすい工夫が随所に見られます。</p> <p>プレゼンの言葉ですが、光村図書出版は「命を見つける」「命と向き合う」をテーマとしています。</p> <p>それから印象に残ったのは、東京書籍で、「中学生は忙しい。一度立ち止まって今の自分を振り返る。少し呼吸を整える。そんな道徳の時間になりますように。」と最後に仰っていたのが本当にその通りだと思います。</p> <p>忙しい中学生が心の勉強をする、豊かな人間になるための時間をもつということは良いことだと思います。</p> <p>日本文教出版の「自己肯定感」という言葉は良いですね。</p> <p>今の自分に自信をもてる。</p>

<p>(小田委員)</p>	<p>クラブや人間関係などで挫折して自信を無くす子どももいると思いますが、そこで「自分に自信をもってみよう、自分を肯定してみよう」という言葉が良かったと思います。</p> <p>学研教育みらいのプラス志向と未来志向がとても良いと思いました。</p> <p>廣濟堂あかつきの編集者さんの言葉に、「敢えて難しい教材をいれて、深く考えさせてみたい」とあり、そうだなと。</p> <p>1時間という限られた時間のなかで先生たちが思うように勉強させることは難しいですが、しっかりと考えさせることは良いと考えます。</p>
<p>森田教育長</p>	<p>委員の皆様のお言葉にありました、教科書の出版社によって、テーマ（主題）がはっきりと書かれているものと、敢えて書かずに、これは何について書かれているかと考えさせるような、それぞれの特徴が出ているかと思っています。</p> <p>ここからは、本市にとってより良い教科書を絞り込んでいきたいと思しますので、ご意見よろしくお願ひします。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>今、教育長が仰られた視点とは異なると思いますが、先ほど言い忘れたこともありますので、発言させていただきます。</p> <p>要望書や教科書閲覧に関するアンケートを読ませていただいて、そのなかにも書かれていたことありますが、道徳の教科書は勸善懲悪と言いますか、或いは「このようにしなければならない」、または具体的に偉人と呼ばれる人物をあげて偉人伝のような、おそらくそのような要素で編集はされていないと思いますが、そのように捉えられてしまうような教科書もあります。</p> <p>そのような要素は避けるべきではないかと考えます。</p> <p>基本は、子どもたちが考えて、自分の道徳律を確立していく。</p> <p>特に中学生になれば自我が芽生えてきますので、そのような視点が必要ではないかと思ひますし、その観点からも絞っていくことができると思ひます。</p> <p>続けてよろしいでしょうか。</p> <p>先ほどふれました、日本教科書については、LGBTの問題を取り上げているということで、これからの現代社会の課題としては、とても良い視点を置かれているという印象をもちました。</p> <p>ただ、良い点か悪い点かはわかりませんが、選定委員会の意見にもありましたように、学習指導要領の内容項目順に配慮しているという部分も1つの編集方針としては新しいかなと。</p> <p>ただ、テーマが22、項目が37に渡っており、少し使いにくいのかなと思ひています。</p> <p>教育出版については、死刑制度、国境なき医師団等、シビアな課題を取り上げられていますが、ややもすると、是非論になってしまうという危惧をも</p>

<p>(山本教育長職務 代理者)</p>	<p>ちました。</p> <p>もちろん編集意図はわかりますが、子どもたちはすぐに是非論にいつてしまうこともあり、特にそこに主観を置かれているので、避けるべきではないかと。</p> <p>また、具体的な有名人がたくさん取り上げられているという部分もあり、子どもたちが憧れのようなものをもつようなことになるのではと思いますので、少し本市の教育には馴染まないのではないかと考えます。</p> <p>よって、言い方がシビアになりますが、この2社については避けるべきだと考えます。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>授業の流れがイメージできるという観点で教科書を選んでみました。</p> <p>授業の流れというのは、先生にとっても生徒にとっても大事なことだと思います。</p> <p>生徒が学べる工夫をされているなど感じたのは、光村図書出版です。</p> <p>冒頭に教材のテーマがあること、「考える視点」や「見方を変えて」、そして「繋げよう」と、自分の思いや気づき、考えなどを記録したり、それらを元にまた考えて議論したり、友達と共有する。</p> <p>授業がスムーズに流れていくのではないかと感じました。</p> <p>日本文教出版については、「学習の進め方」というものがあって、それに沿って授業を進めることができ、学習に取り組みやすい工夫がされている。</p> <p>そのために、プラットフォームや参考といったもので内容を補充させ、子どもたちにより良く理解させるために工夫しており、子どもたちにとっても学習しやすいのではないかと感じました。</p>
<p>小田委員</p>	<p>光村図書出版についてですが、他社と違って紙が光っていない、とても柔らかい色合いです。</p> <p>字は少し小さいけど、読めるサイズだと思いました。</p> <p>同学年くらいの教材が多く見られたので、子どもたちが考え議論する道徳という意味では、取り掛かりやすいと思います。</p> <p>話が逸れますが、私、これだけの教科書を読ませていただいて、とても感動しました。</p> <p>心に響く教材が随所にあって、編集者の皆さんが日本の子どものことを考えてくれていると感じました。</p> <p>折角こんな良い教科書なので、親御さんにも見て欲しいと思いました。</p>
<p>山本教育長職務代 理者</p>	<p>使い勝手の面で言うと、別冊がついている方が使いやすいかなと思います。</p> <p>日本文教出版と廣濟堂あかつきです。</p> <p>廣濟堂あかつきについては、人間の良さや温かい人間性を出していて、すごく共感ができるものだと思います。</p>

<p>(山本教育長職務 代理者)</p>	<p>先ほどから出ている生命の尊重やいじめの防止についても取り組んでおられる印象です。</p> <p>ただ、別冊ノートが60ページに渡っており、本市の子どもたちにそこまでの教材活用をするのは、すごく大変だと思います。</p> <p>別冊の使いやすさで言うと、日本文教出版の方が使いやすいと思います。</p> <p>ただ、別冊を使うことによって、日本文教出版の別冊については、書かれている設問と先生方の設問とうまく合致するかなというところは少し危惧をしています。</p> <p>選定委員会の方で言われていますように、管理という意味ではとても良いと思いますが、設問に合わなくて、先生方が違うプリントを作ったり、設問の上に更に違う設問を作るというのは逆にしんどさも感じます。</p> <p>ただ、別冊の使いやすさだけで言うと、廣濟堂あかつきより日本文教出版の方が使いやすいかなという印象をもちました。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>どの出版社もアクティブラーニングについては考えていただいて題材が入っているので、差異はあまり感じられないと思います。</p> <p>別冊ノートで考えるとやはり廣濟堂あかつきは別冊にも読む題材が入っているということで、ノートの要素というよりも、こちらにも考える要素を入れて書くという部分では、また少し時間がかかるのではないかと。</p> <p>道徳の授業が短いなか、別冊にも考える時間を割くということで、授業の時間がたりるのかなと不安を感じます。</p> <p>その点では、日本文教出版の別冊ノートは、記載されている設問に自分が書いて、それを先生に提出して、先生がどのように考えるか。簡素化されていて使いやすいのではないかと感じました。</p> <p>ただ、山本教育長職務代理者が仰られたとおり、先生方が使いやすいかどうかは先生の個人の考え方が関わってくるのではないかと感じますが、使いやすいのは日本文教出版だと思います。</p>
<p>森田教育長</p>	<p>今、光村図書出版と日本文教出版の2社が出ました。</p> <p>ただ、その前の意見交換のなかでは、他社の良さというのも委員の皆様から発言があったかと思っています。</p> <p>廣濟堂あかつきについて、私も読ませていただいた時、本当にボリュームがあって非常に良い作品が多く取り入れられているなと思いました。</p> <p>ただ、本市の授業で使う場合、少し高度であるかなとも。</p> <p>意見のなかに、「この教科書が使いこなせる教師をめざしていかなければいけない」とありましたが、どの出版社の教材にも言えることですが、限られた時間のなかで、1つの項目の主題に迫れるのかどうかということを含めながら、もう少し絞り込めるようなご意見をお願い</p>

<p>(森田教育長)</p> <p>山本教育長職務代理者</p>	<p>いします。</p> <p>東京書籍について、一番始めに道徳の授業はこんな授業にするんだという部分があります。</p> <p>これは他とは異なりまして、他のところは、詩であったり、子どもたちが自分で考えていくような形になっています。</p> <p>子どもたちが家庭学習をする際に、読めばよくわかるような工夫をされていると思いました。</p> <p>ただ、付録に7編の内容が豊富なものがありますので、廣濟堂あかつきでも言いましたが、これをどのように使うのかが1つ本市の課題だろうと思います。</p> <p>また、切り取れる「ふり返しシート」が教科書の後ろについています。</p> <p>道徳を評価するという観点から言えば、提出用にシートがついているのは1つの工夫としては評価できると思いますが、果たしてそのシートが必要なのかどうか。</p> <p>ややもすれば、数値で評価してしまうということに繋がらないかなというところも気になりますので、振り返りシートについては本市独自のものを作るべきではないかという印象を受けました。</p> <p>学校図書について、「心の扉」という教材が末尾に1ページずつあって、これも非常に工夫をされています。</p> <p>ただ、「心の扉」の半ページくらいが説明になっています。</p> <p>読ませていただくと、よく考えた説明になっているのですが、それはもしかすれば、子どもたちの考え方の誘導になっているようなきらいを感じました。</p> <p>だから、ある程度、結論めいたものになっていく可能性がある。</p> <p>もちろん教科書を作る時にそのような想定はされていないと思いますが、読んでいくと、そのような危惧を感じました。</p> <p>というところで、私自身は、光村図書出版か日本文教出版のどちらかが本市にとっては使いやすいのかなと思います。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>教科書の大きさですが、他の教科の兼ね合いも考えると、できるだけ教科書はコンパクトな方が通学しやすいと、保護者的には思います。</p> <p>学研教育みらいは大きい分、内容が見やすく良かったのですが、教科書はこれだけではないので、通学のことを考えると、小さい方が助かります。</p> <p>日本文教出版は別冊ノートをはずせば割とコンパクトに薄くなっています。</p> <p>その点では、1年間を通して持ち歩くことを踏まえると、ちょうど良いのではないかと考えます。</p>

竹内委員	<p>別冊ノートについて、私も別冊の良さはつくづく実感するのですが、自己評価ということだけではなくて、自分のその時その時の心の成長がありますので、自分の記録として残り、生徒の財産にもなる。</p> <p>それが中学3年間で3冊になると、1年の頃はこんなだったなという振り返りにもなっています。</p> <p>ただ教師の評価の参考になるというだけではなくて、子どもにとっても、非常に素晴らしいものになるのではないかと思います。</p> <p>日本文教出版については、いじめの問題について、1学期、2学期、3学期と、年間を通して扱っているということで、継続的な取組みが大事だと思いますので、いじめの問題の取扱い方が充実しているのではないかと感じました。</p>
森田教育長	<p>皆さん、それぞれ出版社名をあげてご意見いただきました。</p> <p>そのなかで、光村図書出版と日本文教出版の2社に絞らせていただけたらと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。</p> <p>（「異議なし」の声）</p>
森田教育長	<p>それでは、この2社について、もう少し深めてまいりたいと思います。</p>
吉田委員	<p>紙質についてですが、光村図書出版は優しい紙質で、目にも優しく、とても良い印象で、題材も良いものを取り上げられていると思います。</p> <p>あとは、別冊ノートがついているかついていないかの違いになってくるかと思います。</p> <p>別冊ノートがついている方が良いのか悪いのか。</p> <p>今の子どもたちは自分で考えて何かを書くということがとてもしづらい年代ではなると思いますので、ノートの設問がある方が、何か考えを導き出す手助けになるのではないかと思いますので、ノートがあった方が子どもたちは学習しやすいのではないかと考えます。</p>
森田教育長	<p>私の経験上、本市の子どもたちはなかなか自分の考えをまとめて書いたり発表したりが地域的なものかわかりませんが、どちらかというところと不得意としています。</p> <p>また、道徳もここ数年、本市でもそれぞれの学校が実践研究をさせていただいたなかで、以前と比べると随分、自分の意見が言えるようになったと感じています。</p> <p>ただ、中学校になると、なかなかこの辺のところはまだ課題も多くあると思います。</p> <p>教員も年代が変わってきていますので、それらを考えながら、教科書はど</p>

<p>(森田教育長)</p> <p>山本教育長職務代理者</p>	<p>れが良いのか、2社に絞ったなかで、拠り所になるのではないかと思います。</p> <p>先ほど選定委員長の方から、バランスと言われまして、それについて考えました。</p> <p>光村図書出版と日本文教出版について、バランスを考えると、集団或いは社会との係わりに関することとあって、1年、2年、3年ともに明確な差があります。</p> <p>取り扱っている教材が、テーマで見ると各学年で3ないし4異なっています。</p> <p>バランスが良いのは光村図書出版の方だと思います。</p> <p>実際、バランスだけの問題だけではなくて、中学生の子どもたちが集団生活や社会と係わりをもつということは大事なことです。そこにウェイトを置くということはもちろんわかりますが、バランスという観点では光村図書出版の方がとれていると思います。</p> <p>それから、始めに申し上げましたじめという部分については、日本文教出版は光村図書出版と変わらない、もしくは、それ以上に取り上げていただいているかもしれません。</p> <p>光村図書出版については、どうしても国語の教科書という印象があり、読み物のページ数が長い。</p> <p>大体5ページから6ページくらいになっているので、しんどいのかなと。</p> <p>ただ、何故長いのかというのは、学びのテーマが「考える観点」ということで、子どもたちへの問題意識をつくっていくんだという考えがあって、そういう問題提起をされているので、当然、長い読み物を読んで、そのなかで子どもたちに考えさせようという意図があるから長くなっているのかなと。</p> <p>その部分が本市の子どもたちにとって、どうかなとは思いますが、考える子どもを育てていくということについては光村図書出版がより特化しているかなと思っています。</p> <p>ただ、使いやすさで言うと、もちろん別冊がある方が当然使いやすいと思いますが、配列が4シーズンで分けてされているので、始めのとつづきの部分から1年間の完成に向かって並んでいるため、そういう意図が見えているところが、光村図書出版が良いなと思ったところです。</p> <p>光村図書出版の取り扱いやすいところと取り扱いにくいところについて言いましたが、読み物のページが長い分、ページ数が200ページを超えるとというタイトな教科書になっていると思います。</p>
<p>小田委員</p>	<p>50分間の授業を考えた時に、読むだけだったら国語と一緒に、学びのテーマというものが教材の最後にありますが、これプラス、先生方はプリントを作らないといけないような気がします。</p> <p>あと、1時間考えさせるのに順番に先生がそれぞれ独自で作ってくださる</p>

<p>(小田委員)</p> <p>山本教育長職務代理者</p>	<p>のは、先生の負担が増えるのかなと思います。</p> <p>その観点から考えると、日本文教出版は別冊ノートで流れがきちっとあるので、先生も指導しやすい教科書かなと思います。</p> <p>ただ、個人的には、先ほども申しましたが、光村図書出版の柔らかい雰囲気が好きです。</p>
<p>森田教育長</p>	<p>小田委員の仰ったことについてですが、基本的には先生方の資質が問題になってくると思います。</p> <p>今は若い先生方が多いなかで、教科書の使いやすさという問題が出てくるのだと思いますが、何故、光村図書出版が読み物を多くしているかというのは、それを取扱うのは、統一的に決まった取り扱い方ではなくて、それを指導されている先生方が隣のクラスと異なっても、各クラスのなかで1つ先生自身の観点をもって指導してくださいという意図で作られているんだと思います。</p> <p>その意図が本市の先生方の実情と合うかどうかの問題なのかなと。</p> <p>それともう1点、小学校の道徳の教科書が日本文教出版になっているので、来年の中学校1学年の生徒が同じ出版社の教科書を続けて使っていくということで、これについては是非があると思います。</p> <p>1つの教科書で9年間学ぶということは、相当な影響がありますので、その部分が、小学の時にはこういう観点で学んだことが、中学では最終、自分がこのように考えられるようになったと成長も考えられるので、そのどちらをとるかということだと思います。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>光村図書出版と日本文教出版についていろんなご意見をいただき、一長一短あるかなと思います。</p> <p>小学校の道徳の教科書は、日本文教出版で、別冊ノートを使っています。</p> <p>この時、選定の大きな要件となったのは、今の本市の先生にとって、一番、道徳の授業を進めていって、1年間で履修すべき内容項目がそれぞれの学年で押さえていけるということで、最終的に日本文教出版に決まった経緯があります。</p> <p>その是非というのは、9年間続けて良いものか、或いは9年間続けていって初めて道徳のねらいとするものに迫っていけるのかということだと思います。</p> <p>これから、より絞っていけたらと思います。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>個人的には国語が大好きなので、光村図書出版の読み物などの中身がとても入りやすく感じました。</p> <p>ただ、子どもたちにとっては、国語感がとても出ているように感じると思います。</p>

(吉田委員)	<p>日本文教出版は、中身をみると雑誌感覚で、子どもの視点から見ると、雑誌感覚の方がより身近に感じられるのではないかと思います。</p>
竹内委員	<p>光村図書出版の場合、国語の専門メーカーということで、読み物については個人的に読んでいてすごいなと感じました。</p> <p>しかし、1時間の授業で、自分の考えを理解する、読む、考える、そして深めていくという授業のことを考えた時に、教員にとっても子どもたちにとっても、授業をよりスムーズに効果的に進めることができるのはどれかと考えた時に、別冊ノートがあることによって、学習の流れや進め方が教師も把握しやすく、生徒にとっても先が見えて学習がしやすいのではないかと思いますので、別冊ノートがある方が良いのではないかと考えます。</p>
山本教育長職務代理人	<p>光村図書出版が国語の教科書とよく似ていて、国語の授業のようだということで、読み物があるのでそのようになっていると思います。</p> <p>光村図書出版の編集意図はわかりませんが、私が読んでみて思うのは、知的な要求部分は高いと思います。</p> <p>それと、道徳というのは、道徳の授業のなかだけですれば良いんだということではなく、全ての教育活動、或いは授業のなかで道徳を取り扱わないといけないという観点で編集されているから、国語との関連も出てきているのかなと思います。</p> <p>私自身は、光村図書出版はよく考えられていて、ぜひ本市で使えるような先生方の力量を高めていただきたいなと思います。</p> <p>本来、「このように捉えるんですよ」、「このように考えるんですよ」、「結論はこうですよ」ということは、子どもたちが考えていけば良いというのが道徳ですから、それらは一切、示すべきではないと思っています。</p> <p>そうは言っても、光村図書出版も含めて、すべての教材の後ろに「こういうことを考えましょう」という視点があるのはやむを得ないことなのかなと思います。</p> <p>別冊で振り返りを含めて、そういうことはあまりするべきではないのかなというのが、私の考えです。</p> <p>しかし、本市の先生方の実態を踏まえて教科書を選定しないと授業がうまくまわらないので、別冊の必要性というのは理解できます。</p>
森田教育長	<p>そろそろ、まとめていきたいなと思います。</p> <p>小学校の道徳の教科書は、日本文教出版です。</p> <p>中学校の教科書に書かれてある言葉が、「あすを生きる」で、これが、小学校の場合、「生きるちから」となっていました。</p> <p>「生きるちから」から「あすを生きる」になり、小中学校9年間、一貫した編集ということで、この辺の是非ということですが、今の本市の教員の実</p>

(森田教育長)	<p>情或いは子どもたちの実情から考えて、日本文教出版に絞ることでどうかなと、委員さんの意見を聞かせていただいてまとめたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
山本教育長職務代理者	<p>本市の使いやすい教科書ということであれば、日本文教出版に決めることについては異議はありません。</p> <p>教科書の採択とは少し異なりますが、実際の運用面で先生方の個性と言いますか、これからの道德教育を担っていくという意味から、道德だけの問題ではありませんので、子どもたちにどのように対応していくかという先生方の資質を高めてもらわなければなりません。</p> <p>そういう観点から、まったく教科書や別冊ノートに書いてあるとおりをそのままされるのではなくて、そこに先生方の創意工夫を活かしていただきたいと思います。</p> <p>そのことをお願いして、日本文教出版を採択することには同意したいと思います。</p>
吉田委員	<p>自分の子どもを顧みた時に、やはり国語的な要素が入っていると身近に考えることが難しいのではないかと思います。</p> <p>日本文教出版の内容の方が、子どもたちが読んでみようかなと考えられるのと、文章や漢字を勉強するというのではなく、視覚的なところから考える、印象を与えられるというところでは、日本文教出版の方が入りやすいのではないかなと思います。</p>
小田委員	<p>日本文教出版の方は、文章がコンパクトで読みやすいです。</p> <p>いろんな子どもがいるので、国語が好きな子や読むのが嫌いな子、様々ななかで、これくらいの量がちょうど適しているのかなと思います。</p> <p>脚注もきっちり書いていますし、最後に学習の進め方とイラストなどもたくさん入っていて、何より道德ノートがあると、先生の力量もありますが、様々な能力の子どもに考え議論させる道德という意味では、そういう時間がとれて良いかなと思います。</p> <p>読むだけで終わるのではなくて、一呼吸置いてから書いてもらうというのが良いのではないかと思います。</p> <p>日本文教出版で良いと思います。</p>
森田教育長	<p>「特別の教科 道德」ということで、それぞれの出版社が教科書にかける想いが伝わってくるのではないのでしょうか。</p> <p>特に、他の教科の教科書と違い、挿絵とか表紙にも工夫が凝らされて、毎日、毎時間、子どもたちがこの教科書を3年間使っていく訳ですが、その時に、表紙から伝わってくるもの、或いはページを開いてみたら、今までなかった漫画やコラムや写真などが散りばめてありました。</p>

<p>(森田教育長)</p>	<p>ただ、今この時間だけでなく、委員の皆様、各学校の現場、見ていただいた方のアンケート、それぞれの調査員の意見、そして選定委員会での答申を見させていただいたなかで、本市においては、日本文教出版がより相応しいと思われませんが、日本文教出版を採択するということで決定してよろしいでしょうか。</p>
<p>森田教育長</p>	<p>(「異議なし」の声)</p> <p>異議なしと認め、「特別の教科 道徳」の教科書は日本文教出版の教科書を採択することといたします。</p> <p>これで、中学校における「特別の教科 道徳」の採択が終了しました。</p> <p>ここで改めて、採択の結果を発表させていただきます。</p> <p>平成31年度使用四條畷市立中学校教科用図書「特別の教科 道徳」につきましては、日本文教出版でございます。</p> <p>続いて、平成31年度使用四條畷市立小学校教科用図書の採択についてお願いします。</p>
<p>木村教育部上席主幹(教育総務担当)兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長兼教育センター長</p>	<p>平成31年度に、四條畷市立小学校で使用する教科用図書の採択につきましては、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第14条に、「義務教育諸学校において使用する教科用図書については、政令で定めるところにより、政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとする。」とあります。</p> <p>この法の中でいう政令で定める期間とは、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令」第15条に、同一の教科用図書を採択する期間は、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書を採択する場合を除き、四年とする。」とあります。</p> <p>今年度がその四年めとなり、本来であれば、平成31年度に四條畷市立小学校で使用する教科用図書につきましては、採択替えの年となっております。</p> <p>しかしながら、小学校及び義務教育学校前期課程の平成31年度使用教科用図書については、「特別の教科 道徳」(以下、道徳とする。)及び、学校教育法附則第9条の規定による特別支援学級における教科用図書を除き、平成31年度使用教科用図書採択替えのための新たな図書の検定申請が文部科学省になされませんでした。</p> <p>従いまして、平成31年度に四條畷市立小学校で使用する教科用図書の採択につきましては、4年間の使用実績を踏まえつつ、平成26年度の調査研究の内容等を活用しながら適正、公正な答申がなされるよう、選定委員会に諮問いただきました。</p> <p>ここからは選定委員会の委員長であります、田原中学校 堀池校長よりご説明させていただきます。</p>

堀池選定委員長	<p>平成31年度に四條畷市立小学校で使用する教科用図書の採択につきましては、4年間の使用実績を踏まえつつ、平成26年度の調査研究の内容等を活用しながら当選定委員会は調査研究を行いました。</p> <p>それでは、答申の5ページをご覧ください。</p> <p>現在使用されている発行者について記載しています。</p> <p>以上でございます。</p>
山本教育長職務代理者	<p>26年に採択してから4年間が経っており、選定委員長から問題なかったとのことでしたが、使用教科書のこと、特に問題点などは浮き彫りになっていませんか。</p>
堀池選定委員長	<p>使用実績につきましては、校長会、教頭会をとおして学校現場の意見を聴取したところ、特段の問題となるような意見はなく、4年間の実績として問題はないとのことでした。</p>
山本教育長職務代理者	<p>委員長の方から、特にこの4年間、問題はなかったということですので、31年度も同様の教科書の採択で良いかと思えます。</p>
森田教育長	<p>それでは、平成26年度に採択された教科用図書と同一のものを採択することと決定してよろしいですか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
森田教育長	<p>異議がないようですので、採択案のとおり可決することに決しました。</p> <p>ここで改めて、平成31年度使用四條畷市立小学校教科用図書の採択の結果を発表させていただきます。</p> <p>国語、光村図書出版株式会社、書写、光村図書出版株式会社、社会、東京書籍株式会社、地図、東京書籍株式会社、算数、東京書籍株式会社、理科、株式会社新興出版社啓林館、生活、学校図書株式会社、音楽、教育出版株式会社、図画工作、日本文教出版株式会社、家庭、東京書籍株式会社、保健、株式会社社学研教育みらい、特別の教科 道徳、日本文教出版株式会社、以上でございます。</p> <p>次に、平成31年度の中学校の「特別の教科 道徳」以外の教科書について、お願いします。</p> <p>続きまして、平成31年度に、四條畷市立中学校で使用する「特別の教科 道徳」以外の教科書については、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第14条に、「義務教育諸学校において使用する教科用図書につ</p>
木村教育部上席主幹(教育総務担当)兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長	

兼教育センター長	<p>いては、政令で定めるところにより、政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとする。」とあります。</p> <p>先ほどと同様、期間は四年とする、とあります。</p> <p>したがって、平成31年度に四條畷市立中学校で使用する教科用図書の採択については、平成27年度に採択された教科用図書と同一のものを採択することになりますのでよろしくお願いいたします。</p>
森田教育長	<p>ここで、お諮りいたします。</p> <p>「特別の教科 道徳」以外の平成31年度使用四條畷市立中学校教科用図書の採択については、採択案のとおり可決することに異議ございませんか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
森田教育長	<p>異議がないようですので、採択案のとおり可決することに決しました。</p> <p>ここで改めて、平成31年度使用四條畷市立中学校教科用図書の採択の結果を発表させていただきます。</p> <p>国語、光村図書出版株式会社、書写、光村図書出版株式会社、地理、教育出版株式会社、歴史、株式会社育鵬社、公民 株式会社育鵬社、地図、東京書籍株式会社、数学、東京書籍株式会社、理科、株式会社新興出版社啓林館、音楽・器楽、教育出版株式会社、美術、日本文教出版株式会社、保健体育、東京書籍株式会社、技術家庭、東京書籍株式会社、英語、開隆堂出版株式会社、以上でございます。</p> <p>これをもって、議案第11号 平成31年度使用四條畷市立中学校教科用図書の採択についての審議を終了します。</p> <p>本日以後、事務局から大阪府教育委員会に対して、報告をあげていただくこととなります。</p> <p>その他、何かございますか。</p>
南森施設再編室長 兼課長	<p>四條畷南中学校敷地内活断層調査結果報告について及び公共施設等劣化診断調査結果報告についてでございます。</p> <p>まずは南中学校敷地内活断層調査結果報告について、説明させていただきます。</p> <p>内容の説明にあたりましては、標題に、四條畷南中学校敷地内活断層調査の結果の報告について、四條畷市立四條畷南中学校敷地内活断層調査結果概要版と、学識経験者の所見の、計4枚の資料を用いてご説明させていただきます。</p> <p>始めに、本調査の契約概要について、契約件名は四條畷市立四條畷南中学校敷地内活断層調査業務委託でございます。</p> <p>契約期間は編成30年4月2日から7月31日までとなっております。</p>

(南森施設再編室
長兼課長)

調査の業務概要について、本調査は、南中学校敷地内において活断層の詳細位置の確認及び把握を主旨としております。

調査方法については、ボーリング調査及びトレンチ調査を行い、ボーリング調査により採取した土壌試料により各種分析を行ったところでございます。

業務行程につきましては、ボーリング調査を始め、記載の内容となっており、現在、報告書の最終とりまとめを行っているところでございます。

続いて、カラー刷りの概要版にて説明いたします。

本調査対象敷地内は、防災マップにも記載しているとおり、敷地の東側に生駒断層があるとされています。

調査の方法につきましては、ボーリング調査を No 1 から No 8 の 8 箇所、それぞれ記載している深さまで掘削しています。

また、これに加えてトレンチ調査を 2 箇所、それぞれ記載の長さ、幅及び深さで実施しています。

試料分析としては、花粉分析、火山灰分析及び放射性炭素年代分析など 3 つの分析を行っており、結果は記載のとおりです。

これらの結果といたしまして、推定される活断層のゾーンとして、幅約 2 6 m で活断層とみられる地層の変形が確認することができました。

地層の変形につきましては、拡大図をご覧くださいと思います。

ボーリング No 4 と No 2 との間において、図に示しているように、2 万 7, 5 0 0 年前の地層が約 1. 1 5 m 変形していることが確認できます。

1 枚めの資料に戻っていただきまして、花粉分析の結果として、一番東側のボーリング No 2 の深さ 5 0 m から 6 0 m 付近にある、右側中段の青い波線のところでございます。

有機質帯から、亜寒帯を示す花粉化石が発見されました。

一方、No 2 と同程度の深さで採取した一番西側のボーリング No 1 からは、亜寒帯を示す花粉化石が発見されませんでした。

このことから、No 1 と No 2 との間においても、約 2 0 万年から 3 0 万年前と相当古い年代になりますが、地層にズレが生じた可能性が高いと確認できたところです。

これらの調査結果から、No 4 を起点として西側と東側の地層が連続せず、No 4 から東側において活断層がある可能性が高いと判断いたしました。

よって、活断層が通っている位置、左下の赤い線の囲み部分につきましては、1 点めに、生駒断層は学校敷地の東端付近を南北に通っている可能性が高い。

2 点めに、断層は幅、ゾーンを持って分布している可能性が高い。

3 点めに、今回明らかになった断層の位置は、既存の都市圏活断層図に書

(南森施設再編室
長兼課長)

かれている場所とほぼ一致している。
という状況でございます。

最後に、今回の活断層調査に学識経験者としてご協力いただきました、大阪市立大学大学院理学部 三田村教授の所見についてご説明申し上げます。

教授からは、今後の当該敷地の利用に関し、3点、注意すべき事項としてあげていただいています。

1点めに、断層をまたいだ位置及び断層近傍の施設は断層のずれによって壊れる可能性があるため、なるべく利用しないことが望ましい。

2点めに、新規施設の建設時にはできる限り断層から離れた位置に建設することが望ましい。

3点めに、敷地西側は地震波の増幅により、強い揺れが生じやすくなるため、耐震性は十分確保すべきである。

という所見を頂戴しております。

今回の調査結果と、教授からの所見をうけ、本市といたしましては、活断層の真上にある体育館とプールについては、使用は避けるべきと考えております。

なお、敷地の違うエリアにつきましては、活断層のズレ等による影響は少ないものの、耐震性に十分配慮した建物が必要であると考えております。

また、教授からは建物の配置について、活断層からどの程度離せば安全確保が図られるかということに関しては、物理的な根拠をもっては示すことができないと見解をいただいております。

今後、当該施設の利活用につきましては、本調査の結果はもとより、後に説明する公共施設等劣化診断調査結果を含め、積極的に情報提供を行いつつ、学校再編整備を始め、個別施設計画策定の過程において、市民の皆様と意見交換を始め、様々な機会をとらえ、議論していきたいと考えております。

四條畷市立四條畷南中学校活断層調査結果の報告については以上でございます。

続きまして、公共施設等劣化診断調査の結果について、説明いたします。

本調査の契約概要について、契約件名は公共建築物状況調査委託でございます。

契約期間は、平成29年7月20日から平成30年6月30日の2カ年度に亘り実施いたしました。

契約金額と業者は資料に記載のとおりです。

本調査は、平成28年12月に策定した公共施設等総合管理計画で対象とした施設の個別施設計画を策定するにあたり、現状施設の老朽化状況を客観的に把握することを主旨としています。

調査対象施設について、本調査は費用対効果の観点から、公共施設等総合

(南森施設再編室
長兼課長)

管理計画で対象とした公共建築物のすべてを対象にしておらず、建築して間もない、すてっぷなわてや総合公園管理棟、一定期間の経過により老朽化が明らかに認められる忍ヶ丘あおぞらこども園のあおぞら棟や市営南野住宅、その他、建物の用途が倉庫などを除いた建物を調査対象としています。

業務内容について、まず1点めに現地調査でございます。

アの建築物の劣化調査について、屋上内外の建築物の部位、部材と電気設備、給排水設備、空調設備などの設備関係の老朽化状況を確認するものでございます。

次に、イの構造体劣化調査について、構造躯体を耐用年数まで使い続けるためには、構造躯体が健全であることを確認する必要がありますので、鉄筋コンクリート造の建物を対象に、コアを採取し、コンクリートの圧縮強度と中性化深さを調査するものでございます。

次に、ウの鉄筋目視調査について、コンクリートの中性化深さが進んでいる場合、内部の鉄筋が腐食している可能性があるため、腐食の状況を目視により確認するものでございます。

調査結果の報告について、説明いたします。

今申し上げた現地調査の結果と劣化状況の評価点数の算定というものを、その調査に基づく結果といたしまして、別紙にまとめましたので、ご覧ください。

建物の基本情報として、耐震診断、耐震補強まで記載しています。

耐震補強の欄のすぐ右の列、コンクリートの圧縮強度の平均値という項目がございます。

構造が鉄筋コンクリート造りの建物を対象に、1棟あたり3箇所のコアを採取し、コンクリートの圧縮強度の平均値を記載しています。

必要な強度が保たれているとされるのは、圧縮強度が 13.5 N/mm^2 を超えているものでございまして、対象施設の全てでその強度が保たれている結果となりました。

続いて、コンクリートの中性化深さでございますが、採取したコアに試薬を用いて、中性化の進行状況を確認いたしました。

1棟あたり3箇所のコアを採取していますが、なかには壁を貫通したコアがあり、その場合、屋外と屋内の両面から中性化の状況を確認しています。

中性化深さが30mm以上の場合、中性化が進み、内部の鉄筋の腐食が進行しているおそれがあるとされております。

表中の網掛けで表示しているところが該当する箇所でございます。

それらの箇所につきましては、内部の鉄筋が腐食している可能性があるため、コンクリート壁をハツリ、鉄筋の腐食状況を目視により確認してござい

(南森施設再編室
長兼課長)

すが、いずれも問題ない状況でございます。

次に、試算上の区分でございますが、長寿命化が可能な建物につきましては、①構造が鉄筋コンクリート造、②建築年数が50年未満、③圧縮強度の平均値が13.5 N/mm²を超える、④中性化深さが30mm 未満又は中性化深さが30mm 以上であっても鉄筋腐食状況の評価グレードがⅠ又はⅡであることの全ての条件を満たすものが長寿命化対応可能としております。

長寿命化と記載している建物については、その条件にあてはまるということで、それら施設等については、一定の長寿命化に耐える施設であると判断しております。

調査結果一覧表に戻りまして、頁の右側部分には、現地の劣化状況の評価し、評価区分に応じて数値化を行い、建物毎に老朽化度合いを把握するための指標として、健全度を算出しております。

健全度の合計点は、躯体性能の項目100点に、建物の部位、部材及び設備の項目100点を加えた合計200点満点としております。

この点数は、公共施設の健全度を市の内部で序列化するために市独自で行っているものであることから、何点以上なら良い、何点以下なら悪いといった基準はございません。

また、建物の部位、部材及び設備の項目である劣化状況評価におきましては、数値以外に評価区分を濃淡で示させていただきました。

評価の区分の凡例につきましては、右側頁の下部に凡例を記載させていただいております。

次に、健全度順位について、棟単位での健全度を施設単位に置き換えて、順位付けを行いました。

順位が低くなるにつれ、施設の劣化が進行しているということになります。

次に、将来更新費用についてでございます。

本調査で対象とした建築物に長寿命化改修工事を実施した場合の将来更新費用を試算いたしました。

(ア) 試算期間から(カ) 単価表までの試算条件を設定のうえ、費用算定を行っております。

一方、長寿命化改修工事を実施した場合と比較するために、長寿命化改修工事を実施しない場合の試算を行いました。

こちらも先程と同様に(ア) 試算期間から(カ) 単価表までの試算条件を設定のうえ、費用算定をしております。

将来更新費用の比較の概算につきましては、長寿命化改修工事を実施しなかった場合の今後40年間の将来更新費用の総額は、510億円、長寿命化改修工事を実施した場合は、483.4億円となりました。

<p>(南森施設再編室長兼課長)</p>	<p>長寿命化改修工事を実施した場合、26.6億円の削減効果が表れる結果となりました。</p> <p>公共施設等劣化診断調査結果についての報告は以上でございます。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>基本的なことが分からず質問させていただきます。</p> <p>活断層調査の資料カラー2枚めに、ボーリングをされていますが、実際のハザードマップに書かれているのが赤い線で、赤い線の端から5メートルも少しある場所ですが、何故この場所にしたのでしょうか。</p> <p>実際にマップに書かれている断層の位置が不確かであるから調査をした訳ですが、もっと北の方にはないかどうかは分かりませんよね。</p>
<p>藤井都市整備部上席主幹</p>	<p>横並びになっているボーリング No1 から No4 までのラインを決めた理由ですが、このボーリングの位置を決めるにあたって、事前にレーダーを使って地中の探査を行いました。</p> <p>その結果、地層の変異がありそうな箇所ということで、そこを中心にボーリングを行ったという状況です。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>劣化診断についても基本的なことを聞くんですが、長寿命化をしなければならぬ施設のところで、中性化対策が必要、不要となっています。</p> <p>中性化対策をされるとコンクリートの強度が上がって寿命が延びると、単純にはそういうことだろうと思いますが、その中性化対策をすることによって、実際の長寿命化が図られる間の差が工事の差で20億円以上と書かれていましたが、実際にこの中性化対策というのは、どれくらいの効果があるものでしょうか。</p>
<p>南森施設再編室長兼課長</p>	<p>中性化対策というのは、コンクリート強度を上げるものではなく、コンクリートは元々アルカリ性ですが、風雨にさらされると水分を含んで段々と酸性になり、酸性度合が高まると劣化します。</p> <p>その酸性に傾くのを止めるのが中性化対策でございますが、コンクリートの強度を上げるものではございません。</p> <p>なかなか公共施設のなかで、中性化対策をしている事例が少なく、どれだけの効果があるかと言われると、多くの立証できるデータがございませんが、世間一般的に言われているのは、通常、鉄筋コンクリートの建物であれば、標準的な寿命は60年とされていますが、長寿命化対策をすれば80年以上はもつということから、実施する中性化の工事内容にもよりますが、20年以上、場合によっては30年くらいの建物の使用を延長できるかなと思っています。</p>
<p>開教育次長兼教育部長</p>	<p>市長部局の方から、南中敷地内活断層調査の結果、そして公共施設等劣化調査の結果の報告がありました。</p>

(開教育次長兼教育部長)

それらは、学校再編整備に係る諸要件でございます。

学校再編整備については、先般、教育委員会のなかで、考えられる案として7案を整理し、6月20日の総合教育会議の場で市長と合意を図ったところ です。

まとめた資料については、市長から、3つの緊急課題である小規模校の定義づけを明確にすること、7案それぞれについて整備に係る費用を提示する ようにということで、事前に市長部局と協議を経て教育委員の皆様へ提示さ せていただきました。

今後は、活断層調査の結果と公共施設劣化調査の結果を踏まえて、7案を 複数案に絞り込みをしていきます。

予定としては、8月2日に教育委員会の臨時会を開き、その後、総合教育 会議の場で市長と共有を図っていくスケジュール感をもっています。

その絞り込みをする際に、現教育環境整備計画を一部修正するというところ で現在止まっていますが、今回の絞り込みに際し、本計画自体を見直す可 能性が生じてまいります。

したがって、この改訂の準備を進めるに際し、諮問答申の手続きが必要と なりますので、適正配置審議会の準備を併せて進めていくということでご認 識をいただきたいと思ひます。

以上でございます。

上井教育部次長兼 学校教育課長

運動部活動等における熱中症事故の防止等についての通知文書についてで ございます。

昨今の例年にならぬ暑さ及び他の自治体での熱中症にかかる様々な事案が報 道されているところです。

とりわけ、愛知県においては7月17日に小学1学年の児童が校外学習後 に熱中症により死亡するという痛ましい事故が発生しており、我々といたしま しても大変残念でなりません。

本市においても救急搬送等大きな事案は出ておりませんが、暑さによる体 調不良で保健室を訪れる児童生徒はいたと報告を受けています。

市教育委員会といたしましては、学校に対して、これまでも、国や大阪府 の通知文等を活用しながら、周知徹底や注意喚起を行ってまいりました。

しかしながら、今後、夏季休業中も継続した暑さが予想されることから、 子どもたちの生命や安全確保を第一義に置き、今般の改めでのスポーツ庁次 長からの文書を踏まえて、昨日、市教育委員会教育長名で各校に対して、通 知文を發出しました。

内容は、従前から指導しております活動中の子どもたちへの配慮はもとより、 高温注意報や暑さ指数に鑑みた一定の基準にも触れた内容となっております。

なお、2学期以降も、運動会等で練習等屋外での活動がさらに多くなるこ とが予測されますので、この先の気温の状況なども考慮しながら、検討をし

(上井教育部次長
兼学校教育課長)

てまいりたいと考えております。
以上でございます。

森田教育長

7月に入ってからの気温の上昇、異常な温度について、今一番心配しているのが、夏休みに入って中学校の部活動だと思います。

今後40度近くになった時の部活動というのは、ともすれば学校の先生方のこれまでの感覚、それは学校の方で十分ご指導いただいていると思いますが、その辺のところを懸念いたしまして、通知を出させていただいたところ
です。

板谷教育総務課長

先月の教育委員会定例会のなかで、大阪北部地震発生後の対応について状況報告をさせていただきました。

本日は、その後の学校施設の改修工事等の経過を報告させていただきます。

先日の時点では、小学校のプールブロック塀に関して、田原小学、曙小、南小、忍小、東小、岡部小学校のブロック塀が基準に適合しないということで、利用をストップしていると報告いたしました。

その後、東小学校に関しては、造りがコンクリートブロックではないということが判明したため、残り5校において、ブロック塀の撤去工事に着工しました。

その結果、田原小学校と忍小学校については、1学期中に工事が完了したため、プール授業を再開いたしました。

曙小学校、東小学校、南小学校に関しては、1学期中は使わず、南小学校が現在、撤去工事に入るところですが、それ以外は撤去工事が完了したところ
です。

また、体育館に関して、忍小学校と東小学校の体育館に内部と外部に綻び発生し、利用を中止していましたが、忍小学校に関しては内部の工事が完了し、昨日から、団体を含め利用を開始しています。

外部に関しては現在、打音調査の最中でございます。

東小学校に関しては内部、外部ともに調査の途中にありますので利用をストップしています。

目途としては、7月中に再開できるよう進めてまいりたいと考えておりま
す。

現在、プールのブロック塀に関して、田原小学校以外は仮設の対応を行っている状況で、昨日、議会で田原小学校以外の本設置する補正予算を可決いただきましたので、今後、こちらの工事に入っていく予定です。

それ以外につきましても、小学校の擁壁であるとか、土留め、小中学校の
的あてなど、基準に適合しないものが見つかっていますので、昨日の補正予
算のなか、こちらにも撤去する予定となっています。

<p>(板谷教育総務課長)</p>	<p>また、岡部小学校に関しても、天井のガラスにヒビが入っているため、改修の工事を進めてまいります。</p>
<p>森田教育長</p>	<p>工事関係の経過については以上でございます。</p>
	<p>それでは、以上で、本日予定の案件の審議は、すべて終了しました。これをもちまして、定例会を閉会いたします。</p>

上記会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

平成30年8月22日

四 條 畷 市 教 育 長 森 田 政 己

四 條 畷 市 教 育 委 員 会 委 員 吉 田 知 子